

いつまでも若々しく！

脊椎圧迫骨折・骨粗鬆症



整形外科/野水 眞

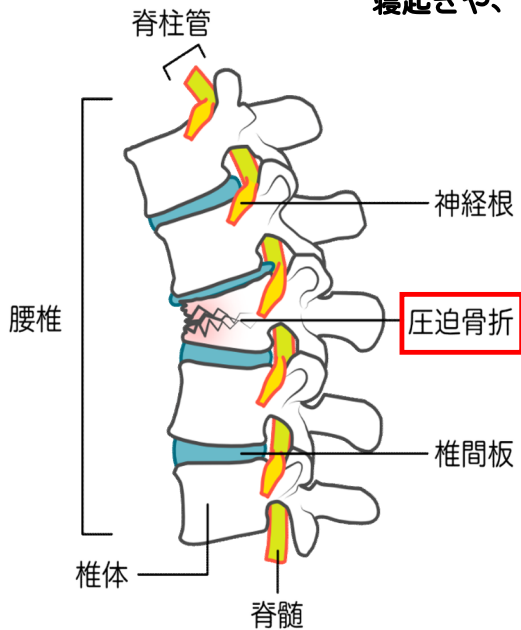


整形外科/吉本 和之

脊椎圧迫骨折とは、背骨が押しつぶされ変形してしまう骨折です。骨が弱いお年寄りに多いのが特徴です。そしてその殆どが骨粗鬆症に起因しています。

背中や腰の痛みはありませんか？

寝起きや、立ち上がり時に腰に痛みはありませんか？



👉 高齢者の脊椎圧迫骨折の原因

骨粗鬆症で骨が弱っているお年寄りは、尻もちをつくなど転倒が原因で起こることもあります。重い物を持ったり、咳やくしゃみをしたりなどちょっとしたきっかけで、知らない間に骨折していることもあります。

👉 治療法

早期にレントゲンやCT検査で骨折がみつければ、数カ月間コルセットを使用します。負荷をかけると骨折が進み、背中が丸くなったり神経障害が出る場合がありますので、ご高齢の方には入院加療をおすすめします。同時に骨密度を測定し、骨密度が少ない場合は骨粗鬆症の治療を速やかに開始し、症状の悪化予防に努めます。

*症状によっては手術が必要になることがあり、その場合は他院への紹介となります。



当院では、疼痛コントロールとリハビリテーションを実施しながら

安静・療養目的での**入院加療**が可能です。

Benus^{evo}
Ultrasound Bone Densitometer



骨密度測定器

👉 骨粗鬆症の検査について

骨量は20歳代に最大骨量に達し、その後男女とも加齢によって低下することが確認されています。特に女性は40歳代後半から女性ホルモンの分泌低下により骨量が減少し、骨粗しょう症のリスクが高まります。

*当院では、かかとの骨に超音波をあてて骨量を測定し、同年代の平均と比較することができます。

素足になって検査するため、脱ぎ着しやすい服装でお越しください。

人生100年時代

骨元気、背中ぴんしゃき寿康会

☎ 048 - 251 - 2050

〒332-0035 川口市西青木2-15-10

医療法人寿康会寿康会病院

